

百人町教会週報

No. 2824
2024 年 12 月 8 日

主日礼拝

待降節第 2 週

司会 泉谷五十鈴
証詞 久保彩菜
奏楽 北村恵子
受付 石田美智代

前奏 Prelude

第 2 蠟燭点火 Candle Fire

讚美 Hymn **289 番**(みどりもふかき)

聖書 Scripture **ヨハネによる福音書 6 章 1-15**(新 174p)

祈祷 Prayer

主の祈り B Lord's Prayer B **93-5 B**

献金 Offering

献金の祈り Offering Prayer

報告 Report

証詞 Testimony **「神様のお弁当」**

祈祷 Prayer

讚美 Hymn **402 番**(いともとうとき)

食前の祈り Prayer before meals

共食 Commensal

応答 Response

祈祷 Prayer

後奏 Postlude

今年の聖句

「わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見た。若者は幻を見る。」ヨエル三の一

今週の聖句

「さて、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱え、座っている人々に分け与えられた。それから、座っている人々に分け与えられた。」ヨハネ六の一

(Zoom ID 「607 777 8018」 PW 「roba1970」 担当 石田・賈・坂・山崎)

※ 今週の集会

「ろば」を読む会 (Zoom) 12 月 10 日(火) 15 時 「ろば」 129 号
担当 石田美智代氏

※ 来週の集会

主日礼拝 12 月 15 日(日) 午前 10 時半 証詞 渡邊 恵氏
聖書研究会 (Zoom) 12 月 18 日(水) 午後 7 時半
聖書 ローマの信徒への手紙 10 章 担当 町田龍次氏

※ 消息と案内

クリスマス礼拝 12 月 22 日(日) 午前 10 時半 証詞 賈 晶淳氏
第 2 部 祝会 持ち寄りパーティ プレゼント(千円程度)
1 月世話人会 (Zoom) 1 月 8 日(水) 午後 7 時

※ 特別献金

クリスマス献金 現在 453,000 円(20 口、予算 90 万円)
塚越智世江氏(感謝)

※ 先週の集会報告

	対面(子供)	Zoom	計	席上献金
主日礼拝	12/1 20	5	25	20,000
聖書研究会	12/4	8	8	
ろばを読む会	12/10			
パンをさく会	1/23			

次週	司会	証詞	奏楽	受付・献金	会員日誌
	小川ひとみ	渡邊 恵	泉谷五十鈴		尾池 幸

集会場所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-13 東京家政専門学校 2 階 ホームページ <http://www.hyakunincho-church.com>

連絡先 〒112-0002 文京区小石川 2-17-41-301 賈 晶淳(カ ジョンソン) 携帯 090(6176)5403 E-メール hyakuninchoroba@gmail.com

◇12 月世話人会報告◇ 記録 石田美智代

出席 賈、小川、泉谷、小島、新谷、坂、山崎、石田

1. 11 月の報告

- ・11 月 24 日 牧師招聘委員会
- ・CS 委員会

2. 12 月の予定

- ・証詞担当 15 日 渡邊恵 22 日 賈 29 日 出席者
- ・12 月 22 日 クリスマス礼拝 祝会
- ・12 月 22 日 ろば 243 号発行
- ・12 月 29 日 年末祈祷礼拝 礼拝後に外で食事会

3. 1 月の予定

- ・証詞担当 5 日 賈 12 日 星山京子
19 日 賈 26 日 石浜みかる(作家)

4. 会計報告

- ・2024 年クリスマス献金先

日本聖書神学校、農村伝道神学校、アジア学院、日本基督教団部落解放センター、HELP、もう伝ライブラリー、山谷兄弟の家、高麗博物館、政教分離の侵害を監視する全国会議、かいた婦人の村、キリスト者平和ネットワーク、「わたしの戦争と平和人権基金」係、同心会を応援する会、カフィンニューズレター、JFC ネットワーク、八戸北伝道所の活動を支える会、NCCJ、会津放射能情報センター、宗教者核燃裁判原告団、へり基地反対協議会(20 箇所)

5. その他

- ・12 月 4 日 朝鮮学校訪問支援(アジア基金から 3 万円献金)
- ・2 月 14 日から 16 日 北支区沖縄平和の旅

参加者：石田、小川(和)、小川(ひ)、賈

次回世話人会 1 月 8 日(水) 19 時から(Zoom)

◇会員日誌◇ 松浦信平

すっかりご無沙汰しております。

2024 年 3 月、三男航が「東京賢治シュタイナー学校」を卒業。これを機に、14 年間つとめたこの学校の理事の職を、私も卒業しました。何の公的支援も無い中、保育園、幼稚園、小中高一貫校を NPO 法人が運営していくのはなかなか大変なこと。想いが強い人たちが集まるだけに、面白い出会いがたくさんありながら、ぶつかりあうこともしばしば。本業以外に費やすことのできるエネルギーのほとんどすべてを、「学校づくり」に注ぎ込む悲喜こもごもの年月でした。卒業式では卒業生全員がスピーチしたのですが、航からは、「自分より父の方が『卒業』を喜んでいると思います。ご卒業おめでとうございます。」などと「祝辞」をもらいました。

夏には鳥取で暮らす長男生の結婚を祝う集い。大学 2 年生になった二男薫は学生生活を謳歌。真理子は幼い子どもたちにかかわる仕事を続けながら、事務所を手伝ってくれています。

本業の方は、最近、隣の市の「スクールロイヤー」としての仕事(公立小中学校で起きるさまざまなトラブルの予防や解決のための活動)が増え、「賢治の学校」を卒業した後も、学校現場へのかかわりが続いています。事務所への相談・依頼では、多重債務に苦しむ方々からの相談が増える一方です。

と、近況を書いている中、韓国から驚愕のニュースが！その動きの激しさと人々の熱量の大きさに圧倒されるばかりです。深夜の国会前に多くの市民が駆け付ける様子からは、自らの力で民主化を勝ち取ってきた人々の自信や誇りを、いきなり耳にした「戒厳布告」という非日常ワードからは、南北分断の厳しい歴史が今も厳然と続いていることを、改めて感じます。